

令和 7 年度 第 1 回 足立区地域保健福祉推進協議会 資料

令和 7 年 7 月 3 0 日

＜審議事項・報告事項・情報連絡事項＞

| | |
|------|---|
| 件名 | 第 2 期足立区子育てサロン整備計画の策定について |
| 所管部課 | 地域のちから推進部 住区推進課 |
| 内容 | <p>「第 1 期足立区子育てサロン整備計画」は、令和 6 年までの計画であった。</p> <p>令和 7 年度から今後 5 年間の「第 2 期足立区子育てサロン整備計画」を別添のとおり策定したため報告する。</p> <p>なお、本計画は「足立区子ども・子育て支援事業計画」に基づき策定している。</p> <p>1 第 2 期足立区子育てサロン整備計画のポイント</p> <p>第 1 期足立区子育てサロン整備計画では、ハード面（施設整備数と施設類型）のみの内容であったが、第 2 期では子ども・子育て支援に関するニーズ調査や利用者アンケートの結果を踏まえて、ソフト面も含めた 5 つの項目を重視した内容に変更した。</p> <p>(1) 子育てサロンの整備数【第 1 期から継続】</p> <p>「第 1 期子育てサロン整備計画」で予定していた全体数 69 か所を維持していく。</p> <p>(2) 施設類型 3 タイプの定義と機能分担【第 1 期から継続】</p> <p>3 タイプ(商業施設等内、拠点型、児童館型)の分類を今後も継続していく。なお、面積 100㎡以上かつ駐車場がある子育てサロンについては、区内全域からの集客が見込まれるため、商業施設内でも大型施設に位置づけていく。</p> <p>(3) 環境整備【第 2 期から新規】</p> <p>親子が過ごしやすい環境を整えていくため、遊具の選定や買い替えの時期の基準を定めていく。</p> <p>(4) 開室時間の延長【第 2 期から新規】</p> <p>職員配置やセキュリティ等の施設状況に応じて、可能な施設から着手していく。</p> <p>(5) 一時預かり【第 2 期から新規】</p> <p>既存の施設では、拡大しない。新規開設および移転する施設で、一時預かり専用のスペースや二方向避難の確保ができる場合は、実施の可否を検討していく。</p> <p>2 計画期間</p> <p>令和 7 年度から令和 11 年度の 5 年間</p> |

3 今後の方針

区内を6地域（千住、綾瀬、佐野、梅田・中央本町、竹の塚、江北・鹿浜、新田）に分け、各地域に役割の異なる3タイプの子育てサロンをバランスよく整備していく。

令和7年度 第1回 足立区地域保健福祉推進協議会 資料

令和7年7月30日

<審議事項・**報告事項**・情報連絡事項>

| | |
|-------------|---|
| <p>件名</p> | <p>重層的支援体制の整備における地域づくり事業の実施について</p> |
| <p>所管部課</p> | <p>福祉部福祉まると相談課、足立区社会福祉協議会</p> |
| <p>内容</p> | <p>令和6年度から取り組んできた重層的支援体制整備事業のうち、これまで未実施であった「<u>地域づくり事業</u>」を令和7年度から新たに実施するため、以下のとおり報告する。</p> <p>1 重層的支援体制整備事業とは</p> <p>(1) 社会福祉法の改正により令和3年4月に創設（区市町村の任意） (2) 地域共生社会^{※1}の実現を目指すための体制整備事業 (3) 事業内容として3つの支援を規定 「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」 (4) 上記（3）を支える事業として以下の2つを規定 「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」「多機関協働事業」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">※1 地域共生社会</p> <p>制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>目指す</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">重層的支援体制整備事業</p> <p style="text-align: center;">一体的に展開することで一層の効果を発揮</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>重層的支援体制整備事業における3つの支援</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 30%;"> <p>属性を問わない 相談支援</p> </div> <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 30%;"> <p>参加支援</p> </div> <div style="border: 2px solid green; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; width: 30%;"> <p>地域づくりに 向けた支援</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center; width: 100%;"> <p>アウトリーチ等を通じた 継続的支援事業</p> </div> </div> <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center; width: 100%;"> <p>多機関協働事業</p> </div> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">重層的支援体制整備事業を支える2つの事業</p> </div> </div> |

2 重層的支援体制整備事業各事業の概要と足立区での展開

| 事業 | | 支援内容 | 足立区 |
|-------------|----------------|--|----------|
| 重層的支援体制整備事業 | ① 包括的相談支援事業 | 属性や世代・内容を問わずに受けとめる包括的な相談支援 | R 6 年度実施 |
| | ② 参加支援事業 | ひきこもり支援や就労準備支援などを通じ、地域とのつながりを作るための支援やマッチング | R 6 年度強化 |
| | ③ 地域づくり事業 | 属性や世代を超えて交流できる機会の整備や、地域における活動の活性化を図るため、多様な団体や人をコーディネート | R7年度実施 |
| 重層を支える | ④ アウトリーチ等継続的支援 | 会議やネットワークの中から潜在的なニーズや相談・困りごとを見出す。 | R 6 年度強化 |
| | ⑤ 多機関協働事業 | 行政機関だけでなく、区市町村全体で包括的な相談支援体制を構築 | R 6 年度実施 |

3 地域づくり事業の実施形態

- (1) 足立区社会福祉協議会への事業委託により実施
- (2) 足立区社会福祉協議会の職員**2名**を、地域づくり事業の中核を担う“**地域福祉コーディネーター※2**”として基幹地域包括支援センター東部に配置

※2 地域住民や関係機関・団体が、属性や世代、分野を超えて支えあう仕組み・福祉ネットワークづくりをする地域福祉の専門職

4 地域福祉コーディネーターの主な役割

| 主な役割 | 委託内容 | 活動内容案 |
|-------|---|--|
| ① 気づく | 地域に出向き、様々な困りごと・地域課題・潜在的な福祉ニーズを把握・情報収集 | ア ニーズ・資源把握（訪問によるヒアリング） イ 調査（5月～7月） 対象：ハウカツ、相談支援事業所、各種団体等 |
| ② つなぐ | 住民同士や多様な地域団体がお互いを知り、課題解決に向けて話しあえる場やつながり（チーム）づくりをコーディネート | ア 分野を問わない参加機会の創出等に向けた懇談会／準備会 イ 定例会の立ち上げ |
| ③ つくる | 既存のサロンや教室等との地域活動を活用し、課題を解決するための「分野を横断した参加の機会」を創出 | ア 民間支援団体等による新規の活動企画案の立ち上げ支援 イ ワークショップの開催 |

5 今後の方針

- (1) 3つの支援「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に展開し、“生きづらさや困りごと”を足立区全体の支援機関・地域の関係者が断らずに受けとめ、つながり続ける支援体制を構築していく。
- (2) 社会福祉協議会に配置されている既存の地域支え合い推進員^{※3}等とも連携し、属性や世代、分野を超えて支えあう仕組みづくり、地域福祉活動の活性化を図っていく。

※3 高齢者が住み慣れた地域で暮らしていけるよう、生活支援や介護サービスの提供体制をサポート・コーディネートする者（別名：生活支援コーディネーター）

令和7年度 第1回 足立区地域保健福祉推進協議会 資料

令和7年7月30日

<審議事項・**報告事項**・情報連絡事項>

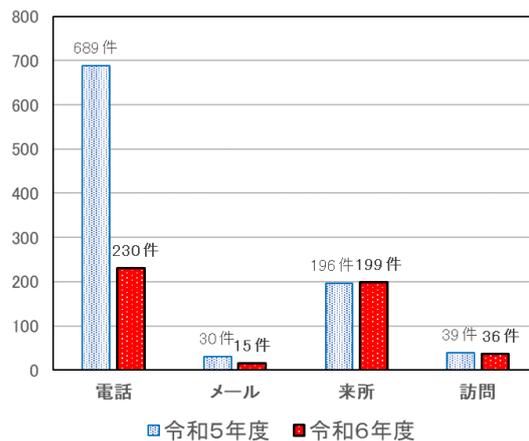
| | |
|-------------|--|
| <p>件名</p> | <p>令和6年度福祉まるごと相談課の事業実績について</p> |
| <p>所管部課</p> | <p>福祉部 福祉まるごと相談課</p> |
| <p>内容</p> | <p>令和6年度に創設した福祉まるごと相談課における“包括的相談支援(まるごと相談)”及び“ひきこもり支援”の実績について、以下のとおり報告する。</p> <div data-bbox="411 779 1184 853" style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p>包括的相談支援(まるごと相談)</p> </div> <p>1 令和6年度の“まるごと相談”の延べ相談件数</p> <div data-bbox="466 925 1161 1429"> <p style="text-align: center;">アウトリーチ実績 延べ261件 福祉まるごと相談課による訪問* 福祉まるごと相談課と支援機関による訪問* * ご自宅のほか相談者が希望する場所へ向う。</p> </div> <p>2 “まるごと相談”から見た傾向</p> <p>(1) 相談内容別延べ件数：令和5年度との比較で1.35倍(35%増)</p> <p>(2) 特に“生活困窮”と“家族・人間関係”が絡んだ複合的な相談が多く見受けられた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="411 1691 901 2116"> <p>【令和5年度】</p> <p>9,098 件</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活困窮 36.8% (3,350件) 健康・こころの悩み 19.0% (1,726件) 仕事・就労 26.1% (2,379件) 家族・人間関係 9.5% (862件) ひきこもり 2.9% (267件) その他 5.7% (514件) </div> <div data-bbox="925 1691 1444 2116"> <p>【令和6年度】</p> <p>12,257 件</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活困窮 41.5% (5,092件) 健康・こころの悩み 16.5% (2,025件) 仕事・就労 18.8% (2,309件) 家族・人間関係 15.3% (1,873件) ひきこもり 2.9% (359件) その他 5.0% (599件) </div> </div> |

3 “まるごと相談” から見えた成果と課題・今後の方針

| | |
|-------|--|
| 成果 | ① “まるごと相談” という分かりやすいフレーズとともに周知が進んだことで、相談延べ件数は令和5年度比で大きく増加した。 ② 区民からの直接的な相談だけでなく、各支援機関からの相談・つながりが多くあった（複合的な課題は他の支援・相談機関も悩んでいる）。 |
| 課題 | ① 福祉まるごと相談課が、困りごとに対しどう関わるか、どこまで伴走するかの見極め ② 潜在的な困りごとや表面化していない課題にも気づいていく視点 |
| 今後の方針 | ① “まるごと相談” を通じて、福祉まるごと相談課が関わる事例を積み上げることで、更なるスキルアップ・ノウハウを蓄積していく。 ② 複雑化している家族の状況を捉え、多面的な視点で課題を解きほぐし、多機関による支援・対応に繋げていくため、庁内各部の研修や地域での講演など、重層的支援体制の意識を醸成していく。 |

ひきこもり支援(セーフティネットあだち)

4 令和6年度の延べ相談件数

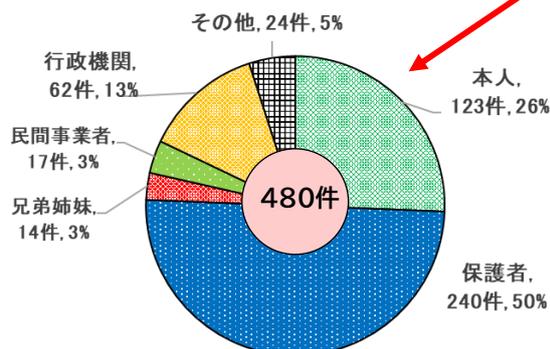


■ 令和5年度:954件

■ 令和6年度:480件※

※令和6年度から集計方法変更
令和5年度は、委託事業者から相談者への架電数も相談件数に計上していた。

5 延べ相談内訳から見えた傾向



① 本人からの相談 123 件のうち、87 件が男性 (70%)、35 件が女性 (29%)、1 件がその他 (1%) である。

② 保護者からの相談 240 件のうち、母親が 152 人 (63%)、父親が 88 人 (37%) である。

③ 身元など詳細を語らないご相談も一定数あり (その他)

6 令和6年度の居場所支援件数

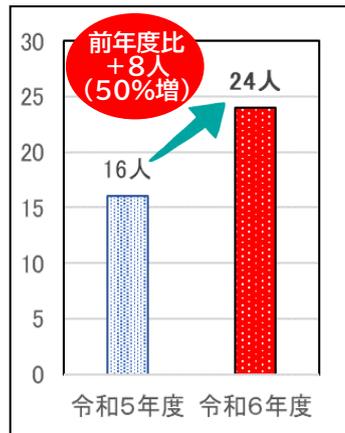
(1) 居場所支援とは

ひきこもりご本人が自宅以外で安心して、自分のペースで、自身のニーズに合わせて自由に過ごせる場所を提供

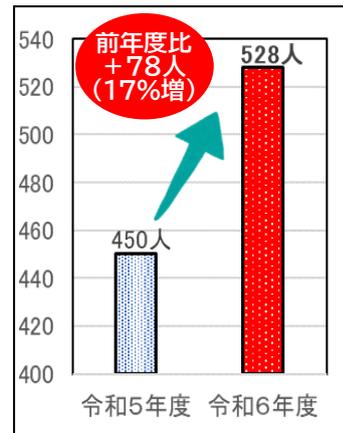
(2) 居場所支援から見えた傾向

- ① 利用の7割以上が20代・30代、また7割が男性であった。
- ② 新規利用登録者のうち、約8割が20代、30代であった。
- ③ 1日あたりの居場所利用平均人数は、約2.2人であった。

《居場所登録者数》



《居場所延べ利用者数》



7 相談支援・居場所支援で見えた成果と課題・今後の方針

| | |
|--------------|--|
| 成果 | <ol style="list-style-type: none"> ① セーフティネットあだちは、事業者変更により暫定の支援場所での実施となったが、部屋を最大限に活用しながら相談・居場所支援ともに実施することができた。 ② 居場所支援は、暫定的な支援場所での制限があるなかで、個別の実情に丁寧に寄り添ったことで、継続的な利用が増え、延べ利用者数の増につながっている。 |
| 課題 | <ol style="list-style-type: none"> ① ひきこもり状態の方の区の推計（約6,400人）からすると、依然として多くの本人、家族等が相談につながっていない。 ② なかでも相談支援、居場所利用が比較的少ない10代、40代以上の世代とも、つながっていく必要がある。 ③ ひきこもり本人への支援を急がず、まずは家族等と信頼関係を築き、世帯全体を捉えた支援が必要である。 |
| 今後の方針 | <ol style="list-style-type: none"> ① ひきこもりへの偏見をなくし、足立区全域に理解の輪を広げるとともに、本人や家族にも「ひきこもりは誰でも相談できる」ことを、丁寧に訴えかけていく。 ② 若い世代が参加しやすい新たな「メタバースを活用した居場所」開始のほか、40代以上の参加につながる居場所支援メニューを工夫していく。 ③ 家庭環境の安定・安心が、ひきこもり本人の生きる意欲につながることから、家族・世帯支援の重要性を日々意識しながら相談を受けとめ、今後の家族支援施策に活かしていく。 |

《参考①》支援会議、重層的支援会議

複合・複雑化した課題や支援につながらない個別ケースを組織、分野横断的に検討するため、新たに以下の会議を開始した。

| 会議 | 委員構成 | 役割 | R6実績 |
|---------|-----------------------|--|--------------|
| 支援会議 | 6部15課＋社会福祉協議会の主に係長級職員 | 多角的な視点で課題を解きほぐし、支援方針を検討（本人同意がない場合も情報共有に基づく支援検討が可能） | 12回開催（毎月開催） |
| 重層的支援会議 | 6部15課＋社会福祉協議会の管理職 | 本人同意を得たケースの支援プランの適切さ、支援の終結等の経過・成果を評価 | 2回開催（12月、3月） |

《参考②》移転・リニューアルしたセーフティネットあだち

| | |
|------------|--|
| 移転場所 | 本庁舎別館 1階会議室 → 学びピア21 7階会議室 |
| 相談しやすい環境整備 | 部屋全体を木目調の落ち着いた雰囲気統一 |
| 居場所スペース | 複数の面談室と、居場所スペースも広く確保することでご本人にあった過ごし方を選択可能 |
| 分かりやすい支援場所 | 公共施設での運営により、今後事業者が変わった際にも安定的に運用し相談者の混乱・負担を軽減 |
| フリースペースの日 | 誰でも自由に体験や見学ができる「フリースペースの日」を新たに設定（月2回） |



リニューアルしたセーフティネットあだちの雰囲気

令和7年度 第1回 足立区地域保健福祉推進協議会 資料

令和7年7月30日

＜審議事項・**報告事項**・情報連絡事項＞

| | |
|------|---|
| 件名 | 「(仮称) 足立区認知症施策推進条例」のパブリックコメントの実施について |
| 所管部課 | 福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課 |
| 内容 | <p>認知症施策を総合的かつ計画的に推進し、認知症の人を含めた区民一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し、地域共生社会の実現を推進することを目的に、現在条例制定を検討している。制定にあたり、区民等から広く意見を聴取するため、次のとおりパブリックコメントを実施する。</p> <p>1 条例制定の背景</p> <p>国は、平成27年に「認知症施策推進総合戦略」(新オレンジプラン)、令和元年に「認知症施策推進大綱」を策定し、さらに、令和6年1月1日に「認知症基本法」を施行した。この間、全国の自治体では独自に条例を制定して地域の実情に合わせて認知症施策を推進してきた。</p> <p>足立区においても地域共生社会を目指し、総合的かつ計画的に認知症施策を推進するため条例を制定する。</p> <p>2 条例制定の基本的な考え方</p> <p>「認知症基本法」で示された基本理念や基本的施策を踏まえた上で、足立区基本計画のテーマである「やりたいことが叶うまち」に基づき、認知症の人が自らの意思によって「やりたいこと」が実現できるよう伴走して支援していく。</p> <p>3 条例案の概要</p> <p>別紙「(仮称) 足立区認知症施策推進条例の概要案」参照 ※ パブリックコメントの際には条例案を公表予定</p> <p>4 パブリックコメント実施期間</p> <p>令和7年9月1日(月)～令和7年9月30日(火)</p> <p>5 周知方法及び閲覧場所</p> <p>(1) 周知方法 あだち広報(8月25日号)、区HP、SNSによる周知</p> |

(2) 閲覧場所

高齢者地域包括ケア推進課、区民事務所、中央図書館、区政情報課、政策経営課で資料を閲覧、配布

6 スケジュール（予定）

| | |
|----------------------------|-----------------|
| 令和7年 9月 1日(月) ～9月30日(火) | パブリックコメント実施 |
| 令和7年12月 | 厚生委員会で実施結果報告 |
| 令和8年 2月 | 令和8年第1回定例会へ議案提出 |

7 今後の方針

- (1) 条例案作成にあたり、6月より認知症本人や家族、区内関係機関に対してヒアリングを実施し、意見を反映させる。
- (2) パブリックコメント実施については、より広く意見を募集するためにホームページ・SNSを通じて周知を行う

(仮称) 足立区認知症施策推進条例の概要案

認知症に関する施策に関し、基本理念を定め、区の責任を明らかにし、基本的施策を定めることにより、認知症施策を総合的かつ計画的に推進し、認知症の人を含めた区民一人一人の個性と能力を十分に発揮するとともに相互に尊重しつつ支えあいながら共生する活力ある社会の実現を推進することを目的としています。

1 基本理念

- (1) すべての認知症の人が自らの意思によって「やりたいこと」が実現できる。
- (2) 区民が認知症に関する正しい知識をもち、認知症についての理解を深めることで、認知症の人の「やってみたい」を後押しする。
- (3) 全ての認知症の人が日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるものを除去することにより地域で安全かつ安心して日常生活を営み、活動の機会を確保して、その個性や能力を十分に発揮できる。
- (4) 認知症の人の意向を十分に尊重しつつ、良質かつ適切な保健医療サービスおよび福祉サービスが切れ目なく提供される。
- (5) 認知症の人の家族に対する支援も適切に行われることにより認知症の人や家族が地域において安心して日常生活が営むことができる。
- (6) 認知症に関する研究等を推進するとともに、予防、診断、治療、リハビリテーションや社会参加など社会環境の整備をすすめる。
- (7) 教育、地域づくり、雇用、保健、医療、福祉その他各関連分野において総合的な取組として行われる。

2 各機関の役割

- (1) 区
基本理念にのっとり、関係機関と連携しながら認知症施策を総合的に推進する。
- (2) 認知症の人
自らの希望・思い・気づいたことを区や地域に発信する。また、地域の一員として自らの意思に基づき、社会参加を行う。
- (3) 区民
誰もが認知症になる可能性があるものとして認識し、認知症に関する正しい知識をもち、その理解を深めるよう努める。
- (4) 事業者
認知症に関する理解を深めるとともに、従業員等に対し必要な教育を行い認知症の人の状況に応じて適切な配慮を行うよう努める。
- (5) 地域組織
認知症に関する理解を深め、認知症の人の生活状況を見守りその他の支援を行うと共に居場所づくりなど認知症の人等が安心して暮らせる環境の整備に努める。
- (6) 関係機関
認知症に関する専門的な知識及び技能を向上させ、並びに認知症の人に適切なサービスが提供されるよう努める。

3 区の基本的施策

- (1) 認知症の人の社会参加の確保
- (2) 認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護
- (3) 認知症の人に関する区民の理解の増進
- (4) 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進
- (5) 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備
- (6) 相談体制の整備
- (7) 認知症の予防
- (8) 関係機関等との連携及び情報共有
- (9) 災害・感染症等非常時等の対応

令和7年度 第1回 足立区地域保健福祉推進協議会 資料

令和7年7月30日

＜審議事項・報告事項・情報連絡事項＞

| 件名 | 令和7年度からの認知症検診事業について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|---------------------------------------|--|--------------|--------------|-----|-----------|--|----|-----|--|------|--------------|---|------|----------------------------------|------------------|----|---------------------------|---------------|-----------------------|---------------------------------------|--|---------------|----|---|
| 所管部課名 | 福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内 容 | <p>令和4年度から実施している認知症検診事業は、認知症に関する正しい知識の普及啓発や、早期発見・対応の促進を目的としている。令和7年度から開始する「あだち脳活ラボ」で早期発見した方を、より早く適切な支援につなげられるよう、従来の認知症検診に加え、内容の一部を変更して実施する。</p> <p>1 変更内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前（令和4～6年度）</th> <th>変更後（令和7年度以降）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業名</td> <td>あたまの健康度測定</td> <td>あだちオレンジチェック ※ 変更前の名称は「印象が良くない」というご意見があり、足立区医師会と協議し、認知症支援のシンボルカラーである「オレンジ」を取り入れた名称に変更する。</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>70歳</td> <td>(1) 70歳 (2) 介護予防チェックリストで認知機能低下の疑いのある方 (3) 「あだち脳活ラボ」によるJ-MCI（50歳以上）、Cognitrax（65歳以上）で認知症機能低下の疑いのある方</td> </tr> <tr> <td>検診方法</td> <td>個別検診 集団検診</td> <td>個別検診 ※ 50歳～64歳までの方には若年性認知症にも対応できる医療機関を案内する</td> </tr> <tr> <td>検査方法</td> <td>個別検診：長谷川式またはMMSE 集団検診：のう KNOW</td> <td>個別検診：長谷川式またはMMSE</td> </tr> <tr> <td>期間</td> <td>個別検診：5月中旬～8月末 集団検診：2日間</td> <td>個別検診：5月中旬～2月末</td> </tr> <tr> <td>検診後支援 ※ 実施者および支援期間</td> <td>名称：伴走支援制度 実施者：訪問看護ステーション 期間：6か月</td> <td>名称：あだちオレンジサポート 実施者：認知症地域支援推進員 期間：3か月</td> </tr> <tr> <td>検診医療機関の検診後の対応</td> <td>なし</td> <td>検診医療機関から「認知機能低下疑い有」の方を一般診療に紹介し、その後認知症と診断された件数を区に報告する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 認知機能低下の疑いがあると判断され、支援を希望した人に対して住み慣れた地域で生活していくために適切な支援を提供する。</p> <p>2 今後の方針</p> <p>(1) 変更した内容を踏まえて、認知症検診事業の安定した運営を目指す。</p> <p>(2) 新たな認知症検診事業について、効果検証を進めていく。</p> | | | 変更前（令和4～6年度） | 変更後（令和7年度以降） | 事業名 | あたまの健康度測定 | あだちオレンジチェック ※ 変更前の名称は「印象が良くない」というご意見があり、足立区医師会と協議し、認知症支援のシンボルカラーである「オレンジ」を取り入れた名称に変更する。 | 対象 | 70歳 | (1) 70歳 (2) 介護予防チェックリストで認知機能低下の疑いのある方 (3) 「あだち脳活ラボ」によるJ-MCI（50歳以上）、Cognitrax（65歳以上）で認知症機能低下の疑いのある方 | 検診方法 | 個別検診 集団検診 | 個別検診 ※ 50歳～64歳までの方には若年性認知症にも対応できる医療機関を案内する | 検査方法 | 個別検診：長谷川式またはMMSE 集団検診：のう KNOW | 個別検診：長谷川式またはMMSE | 期間 | 個別検診：5月中旬～8月末 集団検診：2日間 | 個別検診：5月中旬～2月末 | 検診後支援 ※ 実施者および支援期間 | 名称：伴走支援制度 実施者：訪問看護ステーション 期間：6か月 | 名称：あだちオレンジサポート 実施者：認知症地域支援推進員 期間：3か月 | 検診医療機関の検診後の対応 | なし | 検診医療機関から「認知機能低下疑い有」の方を一般診療に紹介し、その後認知症と診断された件数を区に報告する。 |
| | | 変更前（令和4～6年度） | 変更後（令和7年度以降） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業名 | あたまの健康度測定 | あだちオレンジチェック ※ 変更前の名称は「印象が良くない」というご意見があり、足立区医師会と協議し、認知症支援のシンボルカラーである「オレンジ」を取り入れた名称に変更する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 対象 | 70歳 | (1) 70歳 (2) 介護予防チェックリストで認知機能低下の疑いのある方 (3) 「あだち脳活ラボ」によるJ-MCI（50歳以上）、Cognitrax（65歳以上）で認知症機能低下の疑いのある方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 検診方法 | 個別検診 集団検診 | 個別検診 ※ 50歳～64歳までの方には若年性認知症にも対応できる医療機関を案内する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 検査方法 | 個別検診：長谷川式またはMMSE 集団検診：のう KNOW | 個別検診：長谷川式またはMMSE | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 期間 | 個別検診：5月中旬～8月末 集団検診：2日間 | 個別検診：5月中旬～2月末 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 検診後支援 ※ 実施者および支援期間 | 名称：伴走支援制度 実施者：訪問看護ステーション 期間：6か月 | 名称：あだちオレンジサポート 実施者：認知症地域支援推進員 期間：3か月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 検診医療機関の検診後の対応 | なし | 検診医療機関から「認知機能低下疑い有」の方を一般診療に紹介し、その後認知症と診断された件数を区に報告する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

令和7年度 第1回 足立区地域保健福祉推進協議会 資料

令和7年7月30日

<審議事項・報告事項・情報連絡事項>

| 件名 | 【元気応援ポイント事業】令和7年度ボランティア活動の見直しについて | | | | | | | | |
|---|---|---------------------------|---|-----|------------|---|--|---------------------------|---|
| 所管部課 | 福祉部 高齢者施策推進室 介護保険課 | | | | | | | | |
| 内容 | <p>コロナ禍が明けた令和5年度に、ボランティア活動の再始動に向けて行った【元気応援ポイント事業】を活用したキャンペーンが好評であった。</p> <p>また、キャンペーンは令和5年度の1年間限定であったため、ボランティア登録者から再開を望む声がある。</p> <p>キャンペーンの効果もあり着実にボランティア活動の実績が伸びているため、ボランティア活動の活性化策としてキャンペーンを実施する。</p> <p>1 元気応援ポイント事業とは</p> <p>介護サービスを利用していない高齢者がボランティア活動を行った場合に、活動交付金を交付することで、高齢者の地域貢献を奨励・支援し、社会参加活動を通じた介護予防を推進する事業。</p> <p>2 見直し内容</p> <p>最大10,000ポイントから、最大15,000ポイントへ拡大する。</p> | | | | | | | | |
| | ① | <p>ポイントの付与</p> | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="764 1249 1002 1305">変更前</th> <th data-bbox="1002 1249 1468 1305">変更後（令和7年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="764 1305 1002 1861"> <p>ボランティア活動を行うと、1時間あたり1スタンプ＝100ポイント＝100円。</p> </td> <td data-bbox="1002 1305 1468 1861"> <p>【復活】新規・継続応援キャンペーン 新規登録した方、既にボランティア登録している方が、5スタンプ以上ボランティア活動を行うと、通常ポイントにプラス1,000ポイント。</p> <p>【復活】100スタンプ達成ボーナスポイントプレゼントキャンペーン 100スタンプ達成者は、新規・継続応援キャンペーンの1,000ポイントに加え、さらにプラス1,000ポイント。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="764 1861 1002 2051"> <p>100スタンプ＝上限10,000円。</p> </td> <td data-bbox="1002 1861 1468 2051"> <p>【新規】限界突破キャンペーン これまで最大で10,000ポイントだったものを、最大13,000ポイントに変更。</p> </td> </tr> </tbody> </table> | 変更前 | 変更後（令和7年度） | <p>ボランティア活動を行うと、1時間あたり1スタンプ＝100ポイント＝100円。</p> | <p>【復活】新規・継続応援キャンペーン 新規登録した方、既にボランティア登録している方が、5スタンプ以上ボランティア活動を行うと、通常ポイントにプラス1,000ポイント。</p> <p>【復活】100スタンプ達成ボーナスポイントプレゼントキャンペーン 100スタンプ達成者は、新規・継続応援キャンペーンの1,000ポイントに加え、さらにプラス1,000ポイント。</p> | <p>100スタンプ＝上限10,000円。</p> | <p>【新規】限界突破キャンペーン これまで最大で10,000ポイントだったものを、最大13,000ポイントに変更。</p> |
| | 変更前 | 変更後（令和7年度） | | | | | | | |
| <p>ボランティア活動を行うと、1時間あたり1スタンプ＝100ポイント＝100円。</p> | <p>【復活】新規・継続応援キャンペーン 新規登録した方、既にボランティア登録している方が、5スタンプ以上ボランティア活動を行うと、通常ポイントにプラス1,000ポイント。</p> <p>【復活】100スタンプ達成ボーナスポイントプレゼントキャンペーン 100スタンプ達成者は、新規・継続応援キャンペーンの1,000ポイントに加え、さらにプラス1,000ポイント。</p> | | | | | | | | |
| <p>100スタンプ＝上限10,000円。</p> | <p>【新規】限界突破キャンペーン これまで最大で10,000ポイントだったものを、最大13,000ポイントに変更。</p> | | | | | | | | |
| ② | <p>活動交付金の年度の上限</p> | <p>100スタンプ＝上限10,000円。</p> | | | | | | | |
| <p>※ 最大ポイント：令和5年度12,000ポイント 令和6年度10,000ポイント</p> | | | | | | | | | |

3 実施期間

令和7年8月1日から令和8年7月31日

令和8年8月1日以降は、最大15,000ポイントを継続することで、ボランティアのモチベーションアップと登録者増を図っていく。

4 所要額

令和7年度予算（活動交付金分10,000千円）の範囲内で実施する。

《参考》交付金実績など

| | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-------|------------|------------|------------|------------|
| 登録者数 | 2,683名 | 2,677名 | 2,699名 | 2,776名 |
| 交付人数 | 413名 | 451名 | 571名 | 733名 |
| 決算額 | 1,987,300円 | 2,222,100円 | 3,248,000円 | 5,265,500円 |
| 受入施設数 | 378か所 | 382か所 | 378か所 | 395か所 |

5 今後の方針

- (1) 【元気応援ポイント事業】のキャンペーンについては、あだち広報やホームページなどで周知を行うとともに、毎年11月に開催している介護従事者永年勤続褒賞及び元気応援ポイント事業活動褒賞式やあだち区民まつり「A-F e s t a」などでも周知を行っていく。
- (2) キャンペーン実施のため、「元気応援ポイント事業実施要綱」の改正を行う。

令和7年度 第1回 足立区地域保健福祉推進協議会 資料

令和7年7月30日

＜審議事項・**報告事項**・情報連絡事項＞

| | | | | | |
|--------------------------------|---|------------------------------|-----------------|--------------|---------|
| 件名 | 令和7年度の産後ケア事業における新規・拡充について | | | | |
| 所管部課 | 衛生部 保健予防課 | | | | |
| 内容 | 令和7年度の産後ケア事業の新規・拡充について以下のとおり報告する。 | | | | |
| | 1 宿泊型（医療機関型）産後ケアの拡充について | | | | |
| | 区内で分娩可能な産科医療機関において、産後ケア事業への協力を依頼しているところ、新たに以下の医療機関において開始した。 | | | | |
| | (1) 追加する医療機関 | | | | |
| | ① 東京女子医科大学附属足立医療センター（江北4丁目） 新規 7月1日開始 | | | | |
| | ② 待木医院（西竹の塚2丁目） 新規 4月1日開始 | | | | |
| | (2) 自己負担 1日あたり5,000円（変更なし） | | | | |
| | (3) 施設一覧 | | | | |
| | No. | 施設名称 | 住所 | 対象 | 区の事業開始日 |
| | 1 | 東京女子医科大学附属足立医療センター 新規 | 足立区江北 4-33-1 | 産後3か月 未 満 | R7.7.1 |
| 2 | 待木医院 新規 | 足立区西竹の塚 2-13-17 | 産後2か月 未 満 | R7.4.1 | |
| 3 | 横川レディースクリニック | 足立区保木間 1-22-15 | 産後4か月 未 満 | R5.4.1 | |
| 4 | 長門クリニック | 足立区中川 2-5-8 | 産後4か月 未 満(※) | R6.4.1 | |
| 5 | 綾瀬産後ケア | 葛飾区小菅 4-8-10 | 産後2か月 未 満 | R4.4.1 | |
| 6 | 東京かつしか赤十字 母子医療センター | 葛飾区新宿 3-7-1 | 産後2か月 未 満 | R4.4.1 | |
| 7 | スワンレディースクリニック | 北区王子 4-27-7 | 産後4か月 未 満 | R4.4.1 | |
| 8 | 東京リバーサイド病院 | 荒川区南千住 8-4-4 | 産後4か月 未 満 | R4.4.1 | |
| 9 | 東都文京病院 | 文京区湯島 3-5-7 | 産後4か月 未 満 | R4.4.1 | |
| ※ 長門クリニックの利用対象は、産後2か月未満から産後4か月 | | | | | |

未満へ変更した。

2 デイサービス型（医療機関・日帰り型）産後ケアの拡充について

既に宿泊型産後ケアを実施済みの産後ケア施設において、デイサービス型（日帰り型）を開始した。

(1) 追加する医療機関

長門クリニック（中川2丁目）**新規**

(2) 開始日

令和7年6月1日

(3) 自己負担

1回あたり2,500円（変更なし）

(4) 施設一覧

| No. | 施設名称 | 住所 | 対象 | 区の事業開始日 |
|-----|-------------------|-----------------|-------------|---------|
| 1 | 長門クリニック 新規 | 足立区中川 2-5-8 | 産後4か月 未満 | R7.6.1 |
| 2 | 綾瀬産後ケア | 葛飾区小菅 4-8-10 | 産後4か月 未満 | R4.4.1 |

3 「すこやかプラザ あだち」におけるデイサービス型産後ケアの事業開始について

令和7年4月21日に開設した「すこやかプラザ あだち」において、デイサービス型産後ケアを開始した。**新規**

(1) 開始日

令和7年5月2日

(2) 自己負担額

1回あたり500円（変更なし）

(3) 事業者

NPO法人 子育てパレット

(4) 施設一覧

| No. | 施設名称 | 住所 | 対象 | 区の事業開始日 |
|-----|----------------------------|----------------------------|-------------|---------|
| 1 | すこやかプラザ あだち 新規 | 足立区江北 5-14-5 | 産後5か月 未満 | R7.5.2 |
| 2 | マタニティ& オハナ ベビーハウス Ohana | 足立区梅島 3-4-8 うめじまKSビル 2階 | 産後1歳 未満 | R2.9.1 |

4 訪問型産後ケアの事業開始について **新規**

外出が困難な母親の心身ケア、乳房ケア及び育児指導のため、助産師の家庭訪問による訪問型産後ケアを開始した。

なお、流産・死産を経験した女性の心身ケアについても対象とする。

(1) 訪問事業者

公益社団法人 東京都助産師会 葛飾・足立地区分会に所属する足立区内助産所または助産師

5名（令和7年4月1日現在）

(2) 事業開始日

令和7年4月1日

(3) 対象

産後1年未満の産婦と子ども

(4) 自己負担額

1回あたり2,000円（生活保護世帯・非課税世帯は無料）

※ 多胎児の場合は、ひとりあたり500円増額あり

(5) 利用期間

医療機関型（宿泊型・日帰り型）の産後ケアを含めた7日以内

5 早産における利用期間の延長

(1) 早産や低体重などの理由により長期入院した児に対し、令和7年7月1日から、出産予定日を基準とした「修正月齢」に基づき、利用期間を延長して公費負担を受けられるようにした。

(2) 対象者の受入れについては、各施設との相談になる。

6 今後の方針

新規施設などの産後ケアの情報については、あだち広報・区ホームページ・SNS等で周知していく。

令和 7 年度 第 1 回 足立区地域保健福祉推進協議会 資料

< 審議事項・報告事項・情報連絡事項 >

令和 7 年 7 月 3 0 日

| | | | |
|---|--|--|------------|
| 件 名 | 「第 2 期足立区子ども・子育て支援事業計画」の令和 6 年度実績について | | |
| 所 管 部 課 | 子ども家庭部 子ども政策課 | | |
| 内 容 | <p>「第 2 期足立区子ども・子育て支援事業計画」の令和 6 年度実績及び評価について、別添資料のとおり施策評価表として取りまとめたので報告する。</p> | | |
| | <p>1 評価の方法</p> | | |
| | | 評価者(機関) | 評価内容 |
| | 1 次評価 | 担当課 | 自己評価 |
| | 2 次評価 | 子ども家庭部 | 達成率、効果、方向性 |
| 3 次評価 | 足立区地域保健福祉推進協議会 (子ども支援専門部会含む) | 外部評価 | |
| <p>2 令和 6 年度施策毎の評価概要 (5 点満点)</p> | | | |
| <p>施策群 1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む</p> | 令和 5 年度 2 次評価 | 令和 6 年度 2 次評価 | |
| <p>【施策 1-1】(別添資料 P6 参照) 子どもの心身の健全な発達の支援</p> <p>(1) 「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みは、子どもの良い生活習慣の定着につながっている。各家庭や園の意見を取り入れ、子どもの生活リズムの定着化を推進してほしい。</p> <p>(2) 「あだちはじめてえほん事業」では昨年度課題であった絵本の引換率が低い地域の 1 歳 6 か月児健診会場にて、絵本の直接配付を実施し、引き換え数の大幅改善を実現している。親子で絵本を楽しむ機会を提供し、読書習慣の定着支援をしてほしい。</p> | 3.0 | 4.0 | |
| <p>【施策 1-2】(別添資料 P8 参照) 就学前からの学びの基礎づくり</p> <p>(1) 実績値は目標に達していないが、継続的な各研修の実施により、幼保小連携活動の推進や教育・保育内容の質向上を図り、着実に子どもたちの基本的生活習慣の定着に繋げている。幼保小連携活動を推進し、小学校教育へつながる学びの基礎を作してほしい。</p> | 5.0 | 4.0 | |
| | <p><評価> 成果指標の達成率が、令和 5 年度とほぼ同水準であったが、取り組みや方向性は評価できると判断し、1.0p 増とした。</p> | <p><評価> 成果指標の達成率が令和 5 年度と比較して下回ったため、1.0p 減とした。</p> | |

| | | | |
|--------|--|---------------|---------------|
| | <p>【施策1-3】（別添資料 P10 参照） 特別な支援を要する子どもの状況に応じた支援の充実</p> <p>(1) 個別支援計画の活用や保育者と専門職の連携によって、発達支援児の問題行動軽減や維持ができています。引き続き、保護者を含めて連携を行い、発達特性に応じた関わり方を確認しながら実施してほしい。</p> | 5.0 | 5.0 |
| | <p>【施策1-4】（別添資料 P12 参照） 子どもが社会と関わる力を育むための成長支援</p> <p>(1) 大学との連携による新規講座等各プログラムや、ギャラクシティ30周年を迎えるにあたり様々な体験活動の提供は、参加した子どもたちの学びや可能性を伸ばす支えとなっている。子どものニーズを捉えつつ多様な体験活動の機会を提供してもらいたい。</p> | 5.0 | 4.0 |
| (5点満点) | | | |
| | <p>施策群2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える</p> | 令和5年度 2次評価 | 令和6年度 2次評価 |
| | <p>【施策2-1】（別添資料 P14 参照） 妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実</p> <p>(1) 保育コンシェルジュは、年々相談人数が増加しており需要の高さが見て取れる。オンラインでも相談ができる利便性の高い環境を整備していることで、利用者も気軽に相談しやすく、高い満足度の維持につながっている。引き続き、保護者の不安を軽減し、安心して子育てができるよう一人ひとりに寄り添って相談に応じてほしい。</p> | 4.0 | 5.0 |
| | <p>【施策2-2】（別添資料 P16 参照） 子育てと仕事の両立支援</p> <p>(1) 学童保育室の待機児解消にむけ、民設学童保育室の誘致により受け入れ可能数を増加させているが、依然として待機児童は一定数存在している。地域ごとの需要にあわせた学童保育室の整備等、総合的に居場所の確保を実施してほしい。</p> | 3.0 | 3.0 |

| | | | |
|--|--|--|------------|
| | <p>(2) 世論調査結果をみると、自己表現や家事育児に対する責任について男女対等であると感じていない区民が未だに多いことがわかる。周知啓発を継続的に実施し、パートナー同士が責任を共有して積極的に家事・育児をする意識が定着するよう働きかけてほしい。</p> | <p>＜評価＞ 成果指標の達成率が、令和5年度と同水準であったため、同評価点とした。</p> | |
| | <p>【施策2-3】（別添資料 P18 参照） 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止</p> <p>(1) 豆の木メールでの情報発信強化をしたうえで正規雇用者数が減少した事を考えると、情報の平易化、発信頻度の適切化等の工夫や、それ以外の方法も検討していく必要がある。正規雇用はひとり親家庭の経済的自立につながるため、就労支援事業の積極的な強化や就労・資格取得に関する新規講座等の実施により正規雇用者が増えることを期待する。</p> | <p>3.0</p> | <p>3.0</p> |
| | <p>【施策2-4】（別添資料 P20 参照） 安全・安心に子育てのできる生活環境の整備</p> <p>(1) パークイノベーション計画に基づくテーマのある公園整備や、遊具の日常点検等を滞りなく行い安全な遊具を維持していることが区民の満足度に現れている。今後も、地域や関係所属と連携し安全で安心して利用できる区民目線の公園整備を実施してほしい。</p> | <p>4.0</p> | <p>5.0</p> |
| | <p>3 今後の方針</p> <p>(1) 第3期足立子ども・子育て支援事業計画の進捗管理をし、年度毎に各施策の実績を評価する。</p> <p>(2) 施策評価表については、議会報告後、区ホームページで公表予定。</p> | | |

令和7年度 第1回 足立区地域保健福祉推進協議会 資料

令和7年7月30日

＜審議事項・報告事項・情報連絡事項＞

| | | | | | | | | |
|------|-------------------------------------|---------------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|
| 件名 | 令和7年4月1日の保育所等利用待機児童の状況について | | | | | | | |
| 所管部課 | 子ども家庭部 保育・入園課 | | | | | | | |
| 内容 | 1 令和7年4月1日現在待機児童数 7人 (単位：人) | | | | | | | |
| | | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4・5歳児 | 計 | |
| | 申込者数 [A] (継続利用児含む) | | 955 | 2,455 | 2,467 | 2,412 | 4,897 | 13,186 |
| | 保育施設在園児数 | 認可保育所 | 819 | 1,876 | 2,167 | 2,337 | 4,713 | 11,912 |
| | | 認定こども園 | 1 | 24 | 33 | 55 | 157 | 270 |
| | | 小規模保育 | 52 | 144 | 125 | 0 | 0 | 321 |
| | | 家庭的保育 | 37 | 88 | 87 | 0 | 0 | 212 |
| | | 公設認可外 | 0 | 16 | 15 | 13 | 24 | 68 |
| | 保育施設在園児数合計 [B] | | 909 | 2,148 | 2,427 | 2,405 | 4,894 | 12,783 |
| | から除外した児童数 | 国定義により除外した児童数 | | | | | | |
| | | 認証保育所利用 | 9 | 65 | 15 | 1 | 0 | 90 |
| | | 幼稚園利用 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 3 |
| | | 企業主導型保育利用 | 2 | 21 | 3 | 0 | 2 | 28 |
| | | 育児休業※1 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| | 私的理由※2 | 35 | 205 | 19 | 4 | 1 | 264 | |
| | 求職活動休止 | 0 | 3 | 2 | 0 | 0 | 5 | |
| | 除外した児童数合計 [C] | | 46 | 300 | 40 | 7 | 3 | 396 |
| | 待機児童数 [A] - [B] - [C] | | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| | 2 年齢別待機児童数 (各年4月1日時点) (単位：人) | | | | | | | |
| | | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 |
| | 令和6年 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| | 令和7年 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| | 前年との差 | 増減なし | 2増 | 増減なし | 増減なし | 増減なし | 増減なし | 2増 |

※1 復職の意思がないことを確認した場合

※2 区が他に利用可能な保育所等の情報の提供を行ったにも関わらず、特定の保育所等を希望し、待機している場合

3 地域別待機児童数（各年4月1日時点）

（単位：人）

| ブロック | R6 | R7 | ブロック | R6 | R7 |
|------------|----|----|------------|----|----|
| 1 千住地域 | 0 | 0 | 8 六町地域 | 3 | 0 |
| 2 綾瀬地域 | 1 | 0 | 9 竹の塚地域 | 0 | 4 |
| 3 中川地域 | 0 | 0 | 10 宮城・小台地域 | 0 | 0 |
| 4 佐野地域 | 0 | 0 | 11 江北・扇地域 | 0 | 0 |
| 5 中央本町地域 | 0 | 0 | 12 鹿浜地域 | 1 | 0 |
| 6 梅田地域 | 0 | 0 | 13 舎人地域 | 0 | 2 |
| 7 西新井・島根地域 | 0 | 1 | 14 新田地域 | 0 | 0 |
| | | | 区全体 | 5 | 7 |

4 保育需要率の推移

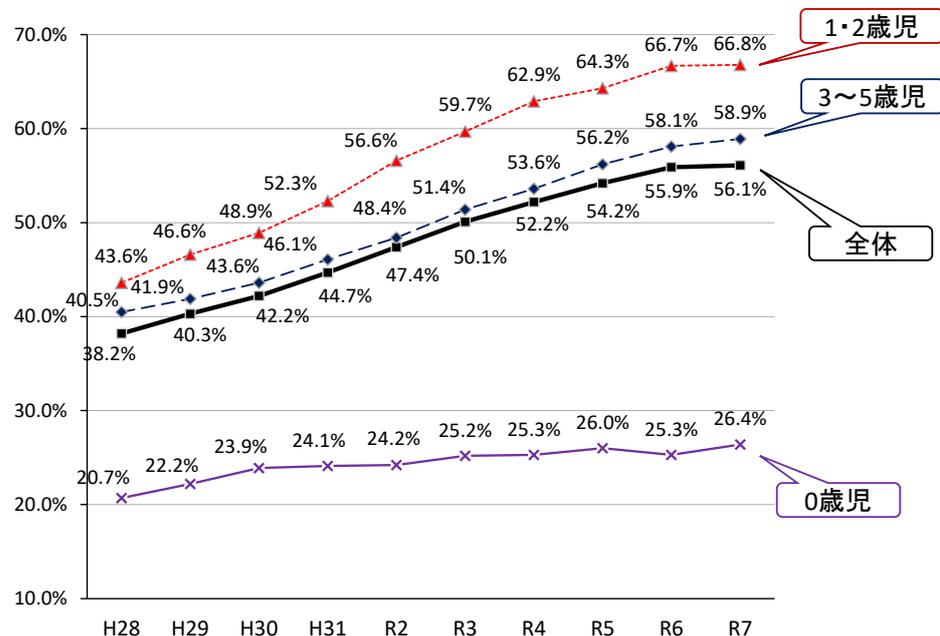
保育を必要とする児童が全体に占める割合を示す「保育需要率」は、前年比0.2ポイント増の56.1%となった。

令和7年4月1日時点

| 年齢区分 | 人口 ① (単位：人) | 保育需要数 ② (単位：人) | 保育需要率 ③ (②/①) |
|-------|------------------|-------------------|---------------------|
| 0歳児 | 4,082 (+217) | 1,079 (+102) | 26.4% (+1.1ポイント) |
| 1・2歳児 | 8,102 (▲229) | 5,410 (▲149) | 66.8% (+0.1ポイント) |
| 3～5歳児 | 12,743 (▲471) | 7,503 (▲173) | 58.9% (+0.8ポイント) |
| 全 体 | 24,927 (▲483) | 13,992 (▲220) | 56.1% (+0.2ポイント) |

※ () 内は前年比を表す。

【参考】 保育需要率の推移（各年4月1日現在）



5 施設別・年齢別空き定員数（令和7年4月1日現在）

（単位：人）

| R7.4.1 （前年との差） | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4・5歳 | 合 計 |
|-------------------|---------------|-------------|-------------|--------------|-------------|---------------|
| 認可保育所 | 211 (▲94) | 125 (46) | 129 (29) | 267 (▲12) | 601 (55) | 1,333 (24) |
| 認定こども園 | 0 (0) | 5 (▲4) | 7 (▲6) | 23 (7) | 33 (4) | 68 (1) |
| 小規模保育 | 76 (3) | 10 (7) | 37 (9) | | | 123 (19) |
| 家庭的保育 | 26 (▲7) | 47 (1) | 11 (▲1) | | | 84 (▲7) |
| 区立認可外 | 6 (3) | 3 (3) | 9 (3) | 0 (0) | 4 (▲3) | 22 (6) |
| 認証保育所 | 48 (▲19) | 16 (▲16) | 23 (3) | 1 (▲8) | 1 (▲3) | 89 (▲43) |
| 合 計 | 367 (▲114) | 206 (37) | 216 (37) | 291 (▲13) | 639 (53) | 1,719 (0) |

6 今後の方針

- (1) 全国的に出生数の低下が続いている中、足立区では10年ぶりに0歳児人口が増加（+217人）した。
- (2) 1歳児の待機児童数は増加したものの、当該年齢の空き定員数が増加しており、今後も引き続き地域ごとの詳細な保育需要の分析や、状況に応じた対策が必要である。
- (3) 待機児童が発生している地域は、区外からの利用者が多いため、以下のとおり令和8年度から区外在住者の入所申請における対応を変更する。

| クラス年齢 | 現行 | | 変更後 | |
|-------|---------|------|---------|------|
| | 在勤者・在学者 | 非在勤者 | 在勤者・在学者 | 非在勤者 |
| 0～2歳児 | ▲2点 | ▲4点 | ▲20点 | 申請不可 |
| 3～5歳児 | | | | ▲25点 |

1 令和7年4月1日現在の年齢別入所状況

①特定教育・保育施設（2号認定・3号認定）

(単位：人)

| | 施設数 | 定員 | | | | | | 入所数（委託を含み受託を含まない） | | | | | | 管外委託 （再掲） | |
|----------------|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|-------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|----|
| | | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4・5歳 | 計 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4・5歳 | 計 | | |
| 認可 保育所 | 公立※1 | 27 | 126 | 359 | 419 | 503 | 1,017 | 2,424 | 87 | 299 | 355 | 411 | 880 | 2,032 | 8 |
| | 公設民営 | 13 | 81 | 187 | 244 | 268 | 559 | 1,339 | 70 | 175 | 222 | 248 | 502 | 1,217 | 0 |
| | 私立※2 | 113 | 816 | 1,480 | 1,661 | 1,858 | 3,793 | 9,608 | 662 | 1,402 | 1,590 | 1,678 | 3,331 | 8,663 | 37 |
| | 小計 | 153 | 1,023 | 2,026 | 2,324 | 2,629 | 5,369 | 13,371 | 819 | 1,876 | 2,167 | 2,337 | 4,713 | 11,912 | 45 |
| 認定 こども 園 | 幼保連携型※1 | 1 | — | 10 | 14 | 22 | 44 | 90 | 1 | 10 | 12 | 8 | 34 | 65 | 1 |
| | 保育所型※1 | 2 | — | 19 | 24 | 25 | 50 | 118 | — | 14 | 19 | 19 | 40 | 92 | — |
| | 幼稚園型※2 | 3 | — | 0 | 10 | 51 | 127 | 188 | — | 0 | 2 | 28 | 83 | 113 | — |
| | 小計 | 6 | 0 | 29 | 48 | 98 | 221 | 396 | 1 | 24 | 33 | 55 | 157 | 270 | 1 |
| 幼稚園 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 1 | 2 | 0 | 3 | — | |
| 合計 | 159 | 1,023 | 2,055 | 2,372 | 2,727 | 5,590 | 13,767 | 820 | 1,900 | 2,201 | 2,394 | 4,870 | 12,185 | 46 | |
| 他自治体へ委託〔再掲〕 | | | | | | | | 4 | 4 | 4 | 13 | 21 | 46 | | |
| 他自治体から受託〔別掲〕 | | | | | | | | 10 | 31 | 40 | 49 | 99 | 229 | | |

※1 入所抑制を反映した入所定員

※2 利用定員数

②特定地域型保育事業（3号認定）

(単位：人)

| | 施設数 | 定員 | | | | | | 入所数（委託を含み受託を含まない） | | | | | | 入所率 |
|--------------|------------|------------|------------|------------|----------|----------|------------|-------------------|------------|------------|----------|----------|------------|---------------|
| | | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4・5歳 | 計 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4・5歳 | 計 | |
| 小規模保育 | 26 | 131 | 154 | 169 | — | — | 454 | 52 | 144 | 125 | — | — | 321 | 70.70% |
| 家庭的保育※3 | 86 | 70 | 131 | 106 | — | — | 307 | 37 | 88 | 87 | — | — | 212 | 69.06% |
| 合計 | 112 | 201 | 285 | 275 | — | — | 761 | 89 | 232 | 212 | — | — | 533 | 70.04% |
| 他自治体へ委託〔再掲〕 | | | | | | | | — | 1 | 1 | — | — | 2 | |
| 他自治体から受託〔別掲〕 | | | | | | | | 6 | 7 | 8 | — | — | 21 | |

※3 休業中の事業者の定員を除く

③認可外保育施設

(単位：人)

| | 施設数 | 定員 | | | | | | 入所数（委託を含み受託を含まない） | | | | | | 入所率 |
|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|--------------|-------------------|------------|------------|-----------|------------|--------------|--------|
| | | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4・5歳 | 計 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4・5歳 | 計 | |
| 公設民営認可外 | 2 | 6 | 19 | 23 | 13 | 28 | 89 | 0 | 16 | 15 | 13 | 24 | 68 | 76.40% |
| 認証保育所 | 33 | 201 | 331 | 307 | 86 | 42 | 967 | 147 | 311 | 284 | 59 | 94 | 895 | 92.55% |
| 認証保育所(区外) | — | — | — | — | — | — | — | 2 | 5 | 8 | 3 | 5 | 23 | |
| 企業主導型 | — | — | — | — | — | — | — | 20 | 104 | 112 | 19 | 22 | 277 | |
| 企業主導型(区外) | — | — | — | — | — | — | — | 1 | 2 | 1 | — | — | 4 | |
| 合計 | 35 | 207 | 350 | 330 | 99 | 70 | 1,056 | 170 | 438 | 420 | 94 | 145 | 1,267 | |

2 ブロック別定員受入可能数

(単位：人)

| | 保育施設空き状況 (認可保育所、認定こども園、小規模保育、家庭的保育、 区立認可外保育所、認証保育所) | | | | | | 受入 可能数 |
|------------------|---|-----|-----|-----|-----|------|--------------|
| | 施設数 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4・5歳 | |
| 1ブロック (千住地域) | 38 | 92 | 78 | 47 | 43 | 99 | 359 |
| 2ブロック (綾瀬地域) | 25 | 46 | 7 | 7 | 27 | 61 | 148 |
| 3ブロック (中川地域) | 10 | 6 | 4 | 2 | 3 | 10 | 25 |
| 4ブロック (佐野地域) | 23 | 18 | 8 | 4 | 26 | 71 | 127 |
| 5ブロック (中央本町地域) | 25 | 46 | 8 | 20 | 5 | 25 | 104 |
| 6ブロック (梅田地域) | 35 | 32 | 33 | 19 | 14 | 73 | 171 |
| 7ブロック (西新井・島根地域) | 12 | 19 | 2 | 15 | 12 | 31 | 79 |
| 8ブロック (六町地域) | 29 | 13 | 12 | 21 | 21 | 47 | 114 |
| 9ブロック (竹の塚地域) | 32 | 12 | 4 | 15 | 17 | 43 | 91 |
| 10ブロック (宮城・小台地域) | 4 | 12 | 10 | 8 | 21 | 48 | 99 |
| 11ブロック (江北・扇地域) | 21 | 30 | 5 | 14 | 29 | 40 | 118 |
| 12ブロック (鹿浜地域) | 26 | 13 | 5 | 19 | 49 | 57 | 143 |
| 13ブロック (舎人地域) | 18 | 9 | 7 | 6 | 9 | 14 | 45 |
| 14ブロック (新田地域) | 8 | 19 | 23 | 19 | 15 | 20 | 96 |
| 合計 | 306 | 367 | 206 | 216 | 291 | 639 | 1,719 |

※ 「定員受入可能数」は、各保育施設の「空き定員数」を示す。

※ 認証保育所以外は、令和7年5月入園分の募集人数

【参考】施設種別ごと受入可能数

(単位：人)

| | 施設数 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4・5歳 | 合計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|------|--------------|
| 認可保育所 | 153 | 211 | 125 | 129 | 267 | 601 | 1,333 |
| 認定こども園 | 6 | 0 | 5 | 7 | 23 | 33 | 68 |
| 小規模保育 | 26 | 76 | 10 | 37 | 0 | 0 | 123 |
| 家庭的保育 | 86 | 26 | 47 | 11 | 0 | 0 | 84 |
| 区立認可外 | 2 | 6 | 3 | 9 | 0 | 4 | 22 |
| 認証保育所 | 33 | 48 | 16 | 23 | 1 | 1 | 89 |
| 合計 | 306 | 367 | 206 | 216 | 291 | 639 | 1,719 |

【参考】待機児童数の集計方法

(単位：人)

| 項 目 | 令和6年 4月1日 | 令和7年 4月1日 |
|---|--------------|--------------|
| 1 不承諾児童数(転園申請・取り下げ等を除いた数) …A | 438 | 403 |
| 2 待機児童数に含めない児童 …B [(1)+(2)+(3)+(4)] | 433 | 396 |
| (1) 認証保育所・企業主導型保育事業・私立幼稚園を利用している | 138 | 121 |
| (2) 「育児休業延長のための申込み」であることを確認した場合、 または、入所できたら復職することの同意書の提出がない場合 | 146 | ※ 6 |
| (3) 特定の保育所等を希望し待機している場合 (ア+イ+ウ) | 149 | 264 |
| ア 保育施設利用申込書に第1希望の施設のみ記入している | 65 | 155 |
| イ 管外の保育施設のみを希望している | 0 | 0 |
| ウ 自宅の近く(概ね半径1km以内)に利用可能で空きがある「認可保 育所」、「小規模保育」、「給食を提供する家庭的保育(保育ママ)」または、「認証保育所」があるが希望していない | 84 | 109 |
| (4) 保護者が求職活動を休止していることを確認した場合 | 0 | 5 |
| 3 待機児童数 …C [A-B] | 5 | 7 |

※ 令和6年度との数字の乖離について

国通知「育児休業・給付の適正な運用・支給及び公平な利用調整の実現等に向けた運用上の工夫等について」に基づく対応により、入園申請時の書類において「育児休業の延長を希望している」との記載ができなくなり、書面での確認がとれなくなったため。

令和7年度 第1回 足立区地域保健福祉推進協議会 資料

令和7年7月30日

<審議事項・**報告事項**・情報連絡事項>

| 件名 | 令和7年度学童保育室待機児童の状況について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---|----------------|--------------|-------------|-------|----|----------------|------------|------|----|----------------|------------|------|----|---------------|------------|------|----|------------|------------|------|----|-------------|------------|-------|----|-----------|----------|------|---|----------------|--------------|------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|----|---|---|---|----|----|---|---|---|---|---|---|----|--------|---|---|---|---|---|---|---|------|---|---|---|---|---|---|----|-------|---|---|---|---|---|---|----|--------|---|---|----|---|---|---|----|----|---|---|---|---|---|---|---|--------|---|---|---|---|---|---|----|----|---|---|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|---|----|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|---|-----|----|-------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
| 所管部課 | 子ども家庭部 学童保育課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>1 令和7年5月1日現在待機児童数 179人</p> <p>(1) 学年別待機児童数 (前年度からの増減)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>申請者数 (対前年)</th> <th>待機児童数 (対前年)</th> <th>待機児童率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>2,294人 (+101人)</td> <td>13人 (-29人)</td> <td>0.6%</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>1,979人 (+212人)</td> <td>34人 (-55人)</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>1,263人 (-14人)</td> <td>62人 (-43人)</td> <td>4.9%</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>603人 (-8人)</td> <td>43人 (-58人)</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>200人 (+24人)</td> <td>20人 (-17人)</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>71人 (+6人)</td> <td>7人 (-7人)</td> <td>9.9%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,410人 (+321人)</td> <td>179人 (-209人)</td> <td>2.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 地域別・学年別待機児童数 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>地域/学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千住</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>18</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>綾瀬</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>大谷田・佐野</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>中央本町</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>花畑・保塚</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>竹の塚・六月</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>梅島</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>西新井・江北</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>伊興</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>鹿浜・舎人</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>新田・江南</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13</td> <td>34</td> <td>62</td> <td>43</td> <td>20</td> <td>7</td> <td>179</td> </tr> </tbody> </table> <p>待機児童数の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>待機児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>263</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>388</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>179</td> </tr> </tbody> </table> | 学年 | 申請者数 (対前年) | 待機児童数 (対前年) | 待機児童率 | 1年 | 2,294人 (+101人) | 13人 (-29人) | 0.6% | 2年 | 1,979人 (+212人) | 34人 (-55人) | 1.7% | 3年 | 1,263人 (-14人) | 62人 (-43人) | 4.9% | 4年 | 603人 (-8人) | 43人 (-58人) | 7.1% | 5年 | 200人 (+24人) | 20人 (-17人) | 10.0% | 6年 | 71人 (+6人) | 7人 (-7人) | 9.9% | 計 | 6,410人 (+321人) | 179人 (-209人) | 2.8% | 地域/学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計 | 千住 | 0 | 2 | 18 | 5 | 4 | 2 | 31 | 綾瀬 | 5 | 8 | 7 | 3 | 2 | 0 | 25 | 大谷田・佐野 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 7 | 中央本町 | 2 | 4 | 4 | 7 | 3 | 0 | 20 | 花畑・保塚 | 0 | 0 | 6 | 4 | 1 | 0 | 11 | 竹の塚・六月 | 3 | 4 | 10 | 8 | 0 | 1 | 26 | 梅島 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 西新井・江北 | 1 | 7 | 4 | 5 | 4 | 1 | 22 | 伊興 | 0 | 2 | 4 | 1 | 0 | 1 | 8 | 鹿浜・舎人 | 1 | 4 | 7 | 8 | 5 | 1 | 26 | 新田・江南 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 計 | 13 | 34 | 62 | 43 | 20 | 7 | 179 | 年度 | 待機児童数 | 令和4年度 | 244 | 令和5年度 | 263 | 令和6年度 | 388 | 令和7年度 | 179 |
| | 学年 | 申請者数 (対前年) | 待機児童数 (対前年) | 待機児童率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1年 | 2,294人 (+101人) | 13人 (-29人) | 0.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2年 | 1,979人 (+212人) | 34人 (-55人) | 1.7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3年 | 1,263人 (-14人) | 62人 (-43人) | 4.9% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4年 | 603人 (-8人) | 43人 (-58人) | 7.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 5年 | 200人 (+24人) | 20人 (-17人) | 10.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6年 | 71人 (+6人) | 7人 (-7人) | 9.9% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 計 | 6,410人 (+321人) | 179人 (-209人) | 2.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地域/学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 千住 | 0 | 2 | 18 | 5 | 4 | 2 | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 綾瀬 | 5 | 8 | 7 | 3 | 2 | 0 | 25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大谷田・佐野 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中央本町 | 2 | 4 | 4 | 7 | 3 | 0 | 20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 花畑・保塚 | 0 | 0 | 6 | 4 | 1 | 0 | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 竹の塚・六月 | 3 | 4 | 10 | 8 | 0 | 1 | 26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 梅島 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 西新井・江北 | 1 | 7 | 4 | 5 | 4 | 1 | 22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 伊興 | 0 | 2 | 4 | 1 | 0 | 1 | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿浜・舎人 | 1 | 4 | 7 | 8 | 5 | 1 | 26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新田・江南 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 13 | 34 | 62 | 43 | 20 | 7 | 179 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年度 | 待機児童数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和4年度 | 244 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和5年度 | 263 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和6年度 | 388 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和7年度 | 179 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

2 待機児童数集計方法の見直し

より適正な待機児童数の把握のため、見直しを行った。

| 見直し内容 | | 対象学年 | 人数 |
|----------------------|---|----------------|-------------|
| 従来の集計方法による待機児童数… (A) | | | 317人 |
| 1 | 居住地の近隣 (500m圏内) に希望する学童保育室以外の学童保育室があるにもかかわらず、第一希望のみを申請している。 | 全学年 | 102人 |
| 2 | 他の放課後の居場所を活用している。 (放課後子ども教室、図書館等の利用) | 4～6年の全対象者に電話確認 | 9人 |
| 3 | 習い事や保護者が面倒を見られるようになった等により、学童保育室が不要 | | 27人 |
| 1～3の合計… (B) | | | 138人 |
| 令和7年度待機児童数 (A) - (B) | | | 179人 |

【参考】他自治体の例

| | 集計方法 |
|----|--|
| 例1 | 希望する学童保育室の近隣 (徒歩 20～30 分圏内=概ね 1.2km 以内) に他の学童保育室があるにもかかわらず、第一希望のみを申請している場合、待機児童数に含めない。 |
| 例2 | 通学している小学校から半径 600m以内に希望する学童保育室以外に空きがある学童保育室がある場合、待機児童に含めない。 |
| 例3 | 学童保育室に定員 (受入可能数) を設けていないため、全ての入室申請を受け入れている (待機児童数はゼロ)。 |

3 今後の待機児対策

(1) 小学校内学童保育室の整備

学童需要の見込まれる地域内の小学校に直接働きかけ、余裕教室等を活用した校内学童保育室の整備を図る。

(2) 民設学童保育室の誘致

学童保育室運営経費の補助額を増額するほか、これまでの公募に加え、区で物件を確保したうえで公募するなど、民間事業者が参入しやすい環境を整備していく。

(3) 学童保育室以外の居場所の推進

放課後子ども教室との一体的運用や児童館特例利用の活用促進など、放課後の居場所を自由に選択できるよう居場所を確保していく。